

兼者 東栄町役場
 編集人 栄行 栄



印刷所 豊橋市東八町
 水鳥印刷所

夜を色どる絢爛豪華な本郷の花火

第40号

九月の行事

- 二百日 青少年交歓会打合せ
 体育協合理事会役場
 スポーツ審議会役場
 昭和三十七年度通常土木工
 事陳情、県
- 二百一日 遺族会役員会役場
 文化財保護委員会役場
 婦人学級
- 二百二百 PTA役員会役場
 保育園保母研修会三輪保
 育園
- 二百三十三 青年演劇指導会、東栄
 中学校
- 二百四十四 副長学校訪問、古戸小
 学校
 伝染病棟建設打合せ、県保
 官来町
- 乳牛結核及びブルセラ検査
 町内一円(二十四、五日)
- 狩猟法説明会、東栄中学校
 防塵舗装陳情、新城土木出
 張所
- 二百五十五 水陸稲農業共済損害評
 価、町内一円
- 町営住宅給水工事設計、三
 輪
- 町民体育大会協議会、役場
- 二百六十六 学校訪問、月小学校
 浪曲大会、本郷高校
- 二百七十七 本郷高校運動会
 農業共済水陸稲坪刈実施、
- 二百 厚生委員会役場
- 二百一 遺族会役員会役場
- 二百二 乳幼児妊産婦検診、園地区
- 二百三 愛知県枝肉共進会出品打合
 会、農林会館
- 二百四 東栄木炭生産組合総会、農
 林会館
- 二百五 簡易放牧牛測定実施、現地
 校長会役場
- 二百六 消防ポンプ性能検査(六日
 七日)
- 二百七 貸付牛預託者並指導者会、
 役場
- 二百八 乳幼児妊産婦検診、園地区
- 二百九 スポーツ審議会役場
 青年大学運営委員会
- 二百一十 慰霊祭打合せ役場
- 二百一十一 商工会役員会役場
- 二百一十二 造林委員会、御川内町有
 林
- 二百一十三 敬老会、各地区
- 二百一十四 青年団女子研修会、青少
 年の家
- 二百一十五 農林団体統合第三回推進
 協議会、役場
- 二百一十六 農協合併基本事項細部検
 討会、東栄農協
- 二百一十七 水稻直播展示圃立毛調査、
 現地
- 二百一十八 合併記念行事委員会、役
 場

町内全蔵

消防団分団長会々夜場

二十八日 交通安全研究会々中設

栄小学校

経済委員会々夜場

二十九日 合併記念行事委員会々

役場

三十日 三輪中、振草中運動会

慰霊祭々本郷高校

検閲式挙行さる!!

昭和三十七年度東栄町消防団検閲式が十月五日午前十時から県立本郷高等学校々庭において団員八二七名が参加し県知事代理官野入消防訓練所教頭、県消防協会横川理事殿始め来賓多数の御臨席を得て盛大に行なわれました。

原田町長検閲官、杉平団長総指揮の下に厳正なる規律と旺盛なる士気をもって、日頃の訓練の成果を十分發揮し、操法、訓練を実施され続いて新橋附近の河畔においてラッパの号音を台図に一斉放水を行ない秋空に二十五本の水煙を上げ一大絵巻きを繰り上げ雄壮そのものであります。

最後にラッパ隊を先頭に威風堂々と分列行進を行ない午後一時四十五分頃式を終わりました。なお本年度の受賞者は次の通りであります(数字は分団名)

受賞者

日本消防協会表彰

功績章 団長 杉平忠雄

退職消防団員褒賞(国家消防行)

- 2 狭石吉登 3 横山重治
- 4 庄司信幸 5 長野 斉
- 6 真田卓治 7 伊藤勝太
- 8 荒河隆男 9 山下充夫
- 10 西村 武 11 本田金義
- 12 森谷義英 13 柄久保良平
- 14 鈴木 茂 14 杉野治美
- 15 鈴川 明 15 村上泰三
- 16 金田 茂 17 伊藤一男
- 18 竹内三一 18 伊藤安男

- 加納信雄 伊藤明文 西田久也
- 熊谷良 堀岡 清 伊藤 清
- 鈴木久男 湯浅恒男 伊藤真六
- 森口祝佳 山内久市 伊藤豊作
- 神谷初男 本田郁夫 本田良幸
- 伊藤正男 夏目洋恵茂原田 泉
- 内藤義一 加藤市之助内藤照二
- 原 巖 内藤龍志 河合 新
- 伊藤 正 伊藤与志 伊藤政一
- 伊藤信六 長谷川武義

愛知県消防協会表彰

- 精勳章
- 本部村豊卓雄 1 片桐兵一
- 2 金田久夫 3 沢井 明
- 4 滝川晴明 4 鈴木信夫
- 5 酒井義人 7 石原盛次
- 8 田中利男 9 鈴木切一
- 10 柴田重男 11 三浦繁雄
- 13 伊藤恒夫 14 佐々木重彦
- 15 鈴木 彰 16 丸山正雄
- 18 伊藤嘉文

善行章

- 本部伊藤文夫 本部内藤嘉平
- 本部清川和一 1 佐々木一臣
- 1 岡田文十 2 森 春市

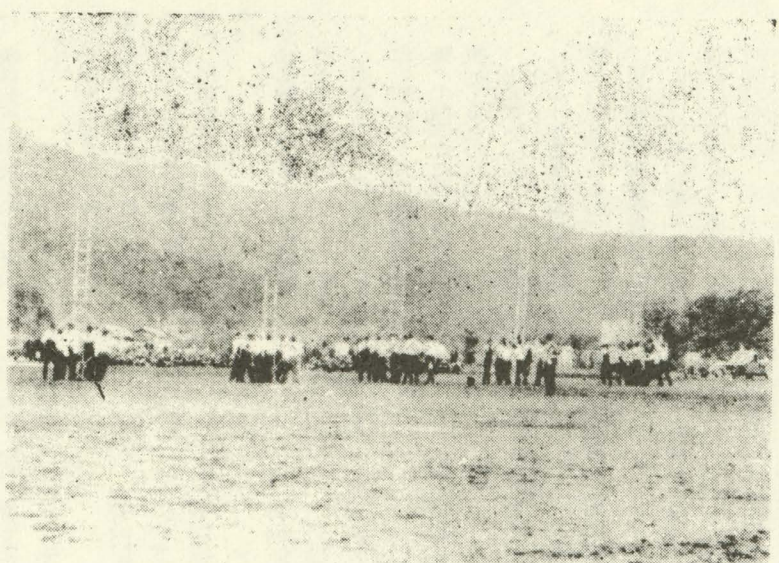
北設楽郡消防連合会表彰

- 本部伊東梯輔 本部伊藤敏次
- 本部高木啓昭 1 原田貫一
- 1 伊藤寿美 1 皆川 久
- 1 伊藤 寿 2 堀田右一
- 2 榎田武夫 2 原田庄司
- 3 堀 宏好 3 伊藤昌一
- 4 高橋通久 4 伊藤隆章
- 5 山城雄三 5 堀岡 敏
- 6 原田辰夫 6 伊藤一男
- 7 原田健次 7 長坂 孝
- 8 伊藤貴臣 8 清水照男
- 9 中野和良 9 竹内文男
- 10 小野田徳夫 10 柴田守
- 11 村松恭一 11 羽田義一
- 12 伊藤己六郎 12 山田真治
- 13 井沢辰夫 13 大野 康
- 14 山本肇弘 14 鈴田正男
- 14 伊藤辰男 14 古野光男
- 15 鈴木三三夫 15 岡田敬男
- 15 伊藤忠次郎 15 鳥嶋 隆
- 16 原田義次 16 工藤健之亮
- 17 片桐良美 17 内藤喜古

- 18 佐々木賢次 18 伊藤敏治
- 18 高木常良

- 精勳章
- 第六分団
- 第一分団長 金田正夫
- 第二分団長 栗林義登
- 第四分団長 伊藤安夫
- 第五分団長 湯浅敬介
- 第七分団長 柴田重男
- 第十一分団長 荒河常一
- 第十二分団長 加納三郎

- 定例表彰
- 第十四分団長 佐々木重彦
- 第十五分団長 鈴木 彰
- 第十六分団長 丸山文雄
- 本部夏目博史 1 原田一人
- 1 川端 賢 1 金沢伊八
- 1 伊藤武義 2 森下 清
- 2 藤田吉郎 2 玉木源一
- 3 八幡邦夫 3 山本恒男
- 3 伊藤 肇 4 原田勝司
- 4 佐々木嘉平 5 坂井宗三
- 5 佐々木典時 6 佐々木毅邦
- 7 中道昌之 7 金田正



消防団検閲 權梯操法

- 8 森 健 8 平賀久人
 - 8 龜山初男 9 伊藤忠作
 - 9 岡田 忍 9 安藤 孝
 - 10 松下季久 10 松下首治
 - 10 金田敬明 11 夏目龍治
 - 11 高橋義雄 11 佐々木太
 - 11 荒河千金 12 中尾忠功
 - 13 柄久保由美 13 大岩宇太夫
 - 13 菅沼 篤 14 土木守弥
 - 14 杉平重男 14 原田信敏
 - 15 伊藤昌司 15 居田敏男
 - 15 内藤金太 16 伊藤英夫
 - 16 竹下謙雄 16 深見良一
 - 17 内藤芳夫 18 初沢善啓
 - 18 伊藤美寿治 18 初沢善次
- 消防団長表彰
- 精進章
- 第十六分団 金田 茂
 - 深見良一 金田嘉郎 原田幸男
 - 金田久志 一野瀬三紀男 内藤
 - 克一 市野瀬澄男
 - 第四分団 伊藤安夫 鈴木孝治
 - 伊藤隆章 佐々木嘉平 高橋通
 - 久 第三分団 伊藤昌一
 - 第八分団 伊藤欣治 第十八分
 - 団 伊藤国治
- 町長感謝状贈呈
- 本郷 村松千尋 火災早期発見
 - 御園 荒河よしゑ 全右
 - 三輪 宮原良子 全右
 - 御園 夏目今朝夫 全右
 - 全右 荒河 正 全右
 - 三輪 小戸森かずえ 全右

全右 濱土光子 全右
月小学校 消火作業協力
消防団長感謝状

青年演劇教室 東栄中学校で

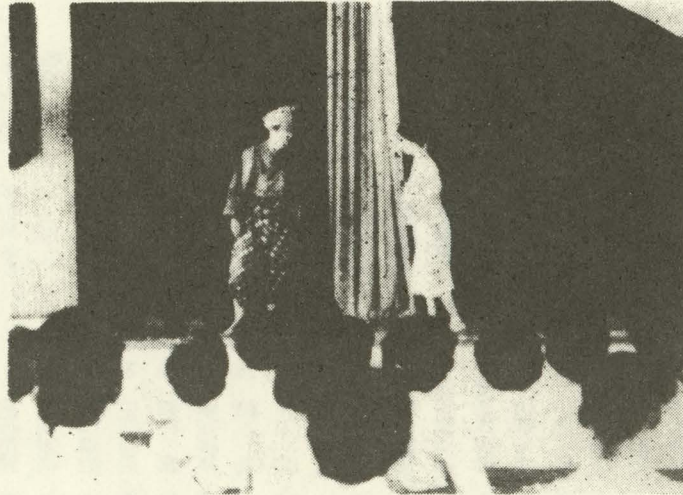
九月号、東栄町報にてお知らせいたしました青年演劇教室が去る九月二十三日(秋分の日)午後一時より名古屋青年演劇団の方々の手によって東栄中学校の講堂を会場にして開催されました。

県教育委員会の小林先生の指導により演劇の基礎となる「本読み

本郷 松下雄一 ポンプ整備協力

「の練習状況や演劇のための化粧の仕方等の実際をみせていただいたのち「てんぐ女房」一幕を見せたいいただいた。

この日は青年大学(学級)生、婦人会、東栄中の生徒が出席して見せていただいたが、これら參觀者たちがリーダーとなって今後の文化活動に、仲間づくりに一層努力していただけること信じております。



「てんぐ女房」青年演劇教室

税務署だより

印紙税について

印紙税につきましては、課税範囲も証書等種類も多いのですが、今回はそのうちの請負に関する証書について説明いたします。

請負とは、当事者の一方が仕事を完成することを約束して、その仕事を依頼した相手はその仕事の結果に対して報酬の支払いを行なうことを契約すること(民法第六三三条)であります。

一、請負契約と売買契約との区別

その契約の重点が仕事の完成にあるか、目的物の所有権移転にあるかによって分かりますが、具体的な取扱いはそのようになります。

(1) 請負に関する証書として取扱われるもの。

イ、建物その他、代替性を有しない物(たとえば特定の機械等)の製作または、修理を内容とするもの。

ロ、注文者から提供された材料による一定物品の製作又は修理を内容とするもの。

ハ、目的物の所有権を移転することともに、その物を一定の場所にとりつけることを含めた内容のもの。

(2) (1)のイ以外のもので、請負契約か、売買契約かの区分がでないもの(混合しているもの)は、第三十一号証書として取扱われます。(製作物供給契約)

(3) 請負としての仕事の内容には有形的なもののほか、音楽の演奏とか論文の作成など、無形的なものを含みます。

二、税率(請負に関する証書)記載金額

- 三千元未満のもの 不要
- 三万円以下のもの 10円
- 10万円以下のもの 100円
- 50万円以下のもの 500円
- 100万円以下のもの 1000円
- 100万円以下のもの 3000円
- 500万円以下のもの 10000円
- 1000万円以下のもの 20000円
- 5000万円以下のもの 50000円
- 5000万円をこえるもの 100,000円

記載金額のないもの 110円

学校めぐり 其の十二

東栄町立月小学校の巻

残暑も漸く去って吹く風もそぞろに秋の哀を感じる、川添いに広く拓けた水田の稲も殆んど刈取られ田圃の区画がはつきりと目立つ、山並みに高いところまで畑や水田が耕され、その中に農家が散在している、秋の種入れも忙しく働く農家の人々が三三伍伍、

ここ御殿山の山麓大字月の部落である、この部落の中央振草川のほとりに東栄町立月小学校がある。

明治初年現在の学校のある反対側のところに学校が設置され、明治十三年本校舎が落成したその後大正十四年十月現在の位置に学校を移している、その間諸種の事情から隣部落の中設楽地区中設楽小学校と合併したり分立したりして幾多の変遷を経、開校以来九十年余この地区の教育の場として今も変わることなく義務教育の灯がともし続けられてきた。

室の数

普通教室	六
特別教室	二
職員室	一
宿直室	一
調理室	一
生徒数	一四四名
職員数	七名
給食婦	一名

学校に入って先づ目につくのが床の光りである、以前この学校に具視学が来校の際に「床の光りは心の光り」という言葉を残されて行かれた以来この言葉を教訓の一つとして床を磨き続け永い間の伝統となっている、これはこの学校の特徴の一つでもある、校舎は大分古くなっているが建物が古いが故にこの光りはなんとなく神聖さを感じ、奥ゆかしさを感じさせる、床の光りとともに生徒達の身も心もこの床のように毎日磨かれていくことであろう。

- 学校の状態 棟数 一棟
- 学校の広さ 校舎 一、一六五坪
- 校舎 二二八坪
- 運動場 五七二坪
- その他 三六五坪

この学校の子供達は素朴で非常に明るく素直である、村松教頭先生は語られる、通学時の態度もよく朝夕の挨拶もよく励行している、特に小学校を卒へ中学校へ移ってから月の子供達は朝夕の挨拶は

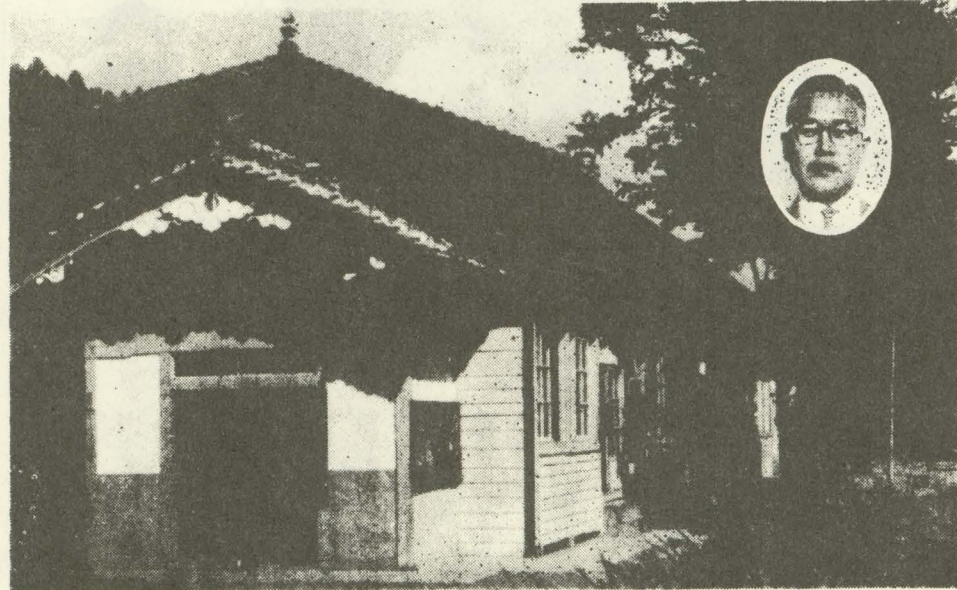
必ず行い大変評判がよいとのこと、この学校の自慢の一つでもある。

昨年は県公安委員会より表彰を受けているこれは子供達が自主的に朝夕の挨拶の励行、通学時には整頓して道路の歩行態度もよく交通安全を期し、道路の清掃、道路

危険場所等は柵をしたり杭を打って危険場所を標示したりして無事故で現在に至っている、こうしたことから昭和三十六年十月に県公安委員会より表彰旗及び表彰状が授与されたのである。



東栄町立月小学校と円内は原田和雄校長先生



ている、本年度の陸球の指導会には二位に入賞している、然し前にも述べたように子供達が純真で素朴である反面、もう一步の押しに欠けスポーツの面にこのことがよく表われますと語っておられた。

この学区の人達はすべて学校を中心に考え学校中心にことを運んで下さるので大変助りますと先生方が大変喜んでおられる、放送施設、水道施設にしてもテレビ、ピアノ等すべて学区の協力で設備されており、学区の教育に対する熱意と協力の程が窺われる、やはりすべての面で学区と学校と家庭の強いつながりがなかったら真の教育はなされたいではなからうか。

近年この学校も児童数の減少は著しく、やはりこの学校も年々減少の一途を辿り学級編成等にも多くの問題点があり最も大きな悩みとなっているようである。

学校の教育目標にもあるように「子供のための幸福な学校」に益々発展されるよう祈る次第である。

警察だより

設 楽 警 察 署 長

●楽しいお祭りをしまし
よう

今年も秋祭りのシーズンとなり
ましたがお祭りには、暴力や、け
んかがつきものだから、スリやあ
き業が多いとよくいわれます。神
社のお祭りも、もうすぐそこだ
す。ことごとそはみんなの協力で
明るい楽しいお祭りになりたいも
です。そのためには、みんなが暴
力を監視しあって、どんな小さな
暴力でも、決して許さずすぐ警
察へ届出てください。そうすれば
暴力はこの町から自然姿を消して
いくものです。

◆チヨツト待つてネ、戸
締りします

お祭りの余興見物とか、秋の野
や山に家中そろって、お出かけの
機会も多いと思います。こんなと
きに、何んといつても大切なこと
は戸締りです。特に気をつけてい
ただきたいのは、お買物など、
ほんのちよつと家をあけられると
きです。「すぐ帰るから」といっ
た油断が大敵で、あき集ねらひは
よく家から人が出て行くのを見届
けてから、行人のようなかっこ
うで、はいり込みごろぼうに早変

りするものです。家をあけるとき
は、気はせいいていても、まず落ち
着いて戸締りをしさらにお隣にも
頼んで出かけるよう習慣をつけたい
ものです。

◆「迷惑をかけない運動」
はじまる

皆さんの平和な生活をおびやか
す、小さな暴力や、いやがらせな
ど、いわゆる人に迷惑や不安を一
掃しようという。「迷惑をかけない
運動」がはじまりました。警察
では強い態度で、次にあけるよう
な迷惑行為を取締る方針です。

◆駅、劇場、飲食店および自動車
や電車など公共性のあるところ
で他の人がいやがったり、迷惑
を受けるような、行為や暴言。
◆酒に酔って、他人にからんだり
乱暴したり、交通の妨害となる
ような行為。

◆他人の進路に立ちふさがったり
身辺に群がる等して不安または
迷惑をかける行為。
◆他人の業務に、いたすら、悪ぶ
さけ、偽計等もちいて、いや
がらせをしたもの。

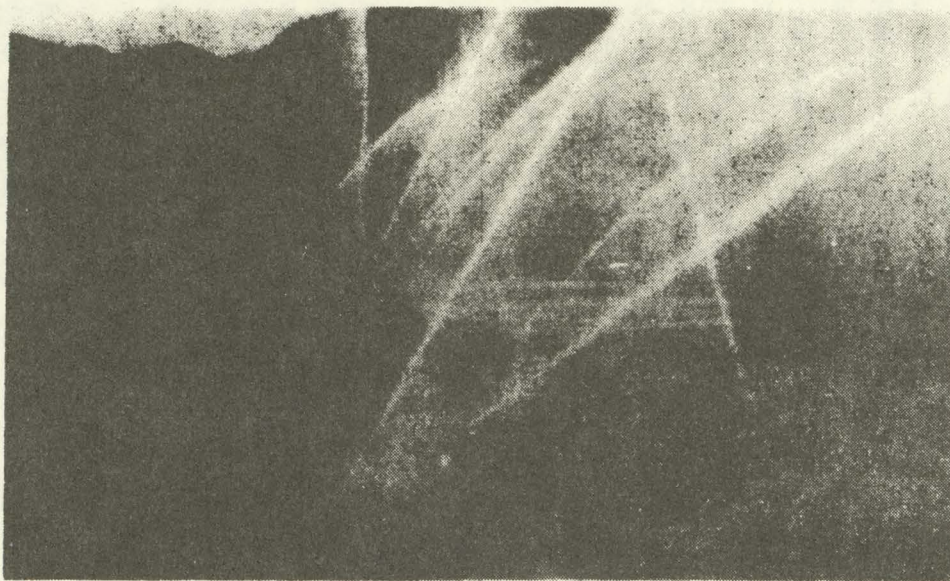
◆押売り
◆悪質なしし舞や、えん歌師のた

へい。

◆道路ですわったり、立ちどまっ
たりして交通を妨害したり、他
人に迷惑をかける悪質営業行為
◆他人の家、便所、浴場をのぞき
見したり、公衆にいやな感じを
与える方法で、しり、ももを出
すなど、わいせつな行為をした

もの。

◆街路燈や防犯燈に石を投げるな
ど、いたすらをしたもの。
その他、人が迷惑を受けるよ
うな、いたすら、いやがらせ
等一切。
◆秋の交通安全へのお願
秋は清新な空気を胸いっぱい吸



消 防 団 検 閲 放 水 訓 練

い込んで思い切り飛んだり、はね
たりしたい感じのするときです。
しかしこの季節は交通事故が多く
起きるときでもあります。
交通事故は、運、不運ではありません。
自分で防ぐことができます。
楽しいときには、とかく気持
がうわつきがちで、とり返しのつ
かないことが起きやすいもので
す。ほとんどの事故は、自分自身
がよく注意すれば防げます。

この東栄町から、いたましい事
故をなくして、ほんとうに楽しい
みのりの秋にいたしましょう。

◆歩行者のみなさんへ
◆あぶない幼児のひとりの歩き。
◆やめよう、車の直前、直後の
横断。

◆踏切りでは、歩く人も一時停
止、安全確認。
◆自転車のみなさんへ

◆右回り、左回りには必ず合図
◆必ず一列で左端通行。
◆ブレーキのきかない自転車に
は乗らなす。

◆運転されるみなさんへ
◆あぶないときは徐行しよう。
◆酒のみ運転はやめましょう。
◆つかれてくるときは、まず休
養。

郵便貯金で明るい生活の設計を

住みよい郷土をつくる 郵便貯金奨励運動はじまる

暮しむきは、知らぬまに上向いていきますが、貯金はなかなかできないものです。しかし将来の生活をよりよくするためには貯金は絶対に必要なことは申すまでもありません。貯金するには安全、有利、便利、秘密が大切でその上に無税なのが郵便貯金です。

みなさんの郵便貯金は、いま全国で一兆四千億円にも達しています。この郵便貯金は、わたし達一人一人の生活のためばかりでなく大蔵省の資金運用部を通じて、公共事業に多く貸出され、郷土の発展に役立っています。このほか中小企業金融公庫や国民金融公庫を通じて、中小企業にたすきわっておられる方々へ、事業資金を供給しています。なお、農作業の機械化や、酪農などのための資金は、農林漁業金融公庫をおして貸出されています。さらに国鉄や、開発銀行への融資、興業債券、長期信用債券の購入によって、東海道新幹線の工事を始め、電力、石炭、鉄鋼、海運など、わが国経済の土台になる産業をおこすとともに、輸出入銀行への融資により

貿易の振興にも力をつくしていきます。

郵便局では、このような郵便貯金のはたらきを広くみなさんにご理解いただき、さらに貯金をふやすため、関係官庁や団体の協賛により、九月一日から「住みよい郷

東 栄 町 報

料理教室

(第二回)

「あ、おなががすいた」多忙のなかにも何と気持ちのよいこのごろでしょう。台所をあずかるあなたの手をふるって、この秋を一層味のあるものにして下さり。

一、きぬかつぎ

ほっくりした、おいしい里芋も多人数の場合は、いちいち皮をむらしているのは大変です。そこで作り方

(1)里芋を皮つきのまゝ泥をきれいに洗い落とし、塩をちよっと落した湯でゆでる。

(2)ざるに上げて、胡麻だれを別的小鉢に盛って、すくめる。

胡麻だれの作り方

(1)黒胡麻半カップをいって、す

土をつくる郵便貯金奨励運動」を行なっています。この機会に、みなさんが、生活の合理化をいっそう進められ、一年後に東京で開かれるオリンピックをめざしての積立貯金や、九州、北海道、南四国等への空の旅郵便貯金をはじめられますよう、お奨めいたしております。住みよい郷土をつくる郵便貯金もあなたもぜひ実行して下さい。

(東栄郵便局)

り鉢ですり、大きじ一杯半の味噌、大四杯の砂糖、大三の醤油を合せてすりのばす。もし固らうなら出し汁で、どろっとするくらいにゆるめる。

食べ方

里芋を皮からつるっとはじき出して、ちよいちよひ胡麻だれをあしらいつながら食べるのは、野趣があって、とても楽しいものです。小童などにも小鉢でよし、都会のお客様などには、飾り立てたご馳走より、かえってこつした素朴な味は喜ばれます。

二、甘藷とりんごの重ね煮

おおよそ、緑のないような材料でも組み合わせると思いがけず、

味をよく調和するものがありま

材料

甘藷 一・一キロ(約八本)
りんご 小二個

砂糖 大きじ九はち

マーガリン 小きじ一杯半

塩 小きじ四杯

作り方

(1)さつまいもは皮をむいて、小口から五ミリ厚みに切り揃え、水にひたしてあくぬきする。

(2)りんごは六つ割にして芯をと

り更に小口から薄切りにしてさつと水にさらす。

(3)鍋の底にバターをぬり、甘藷を一並べにしき、上にりんごをの

せる。また甘藷をのせて、これを交互に幾段にも重ねて、上から砂糖と塩をふり入れる。

(4)水一カップ半をまわしかけ、中火にかけて約二十五分、ふたを

かけてすくに煮込む。

食べ方

皿なり丼に盛って、すきなりに食べますが、パンの副食の外、お茶受や子供のおやつにもよく、甘藷にほんのりと甘酸っぱい香りが移って素敵な味がします。

生活改良普及員 水野はやせ



放水訓練を観閲する原田町長

「東栄町民話集」

の 発 刊 に つ い て

今の壮年の方がまだ幼年の頃、いろいろ端で芋を焼きながら、おちいさんから聞いた伝説、足込の入口に赤子石というところがある「あれはなあ、昔赤子がすてられて乳がのみたくて泣きわいて岩をはい廻り赤子の足跡が岩にくっついた」

「おちいちゃん、ほんとうなあ「眼をまるくして、きいた思ひ出、

「柿野の中屋のおちいさんはなあ明神山の頂上で花の笛を吹いていたら天狗様がきて、おれにその笛を下させ」、「おれと角力をとって勝ったらやる」それから、それから満足するまで根ほり葉ほり顔を真赤にしてききただした思ひ出、

こんな伝説は遠い昔から語り継がれて現在まで伝わったものであるが、科学の進歩によって忘れられようと心配する人、いやこうした民話はいよいよ研究されて、ひとつの学説として貴重なものになるだろうという人等、議論はいろいろあろうと思いますが、東栄町文化財保護委員会では、今回町内の伝説をまとめて、東栄町民話

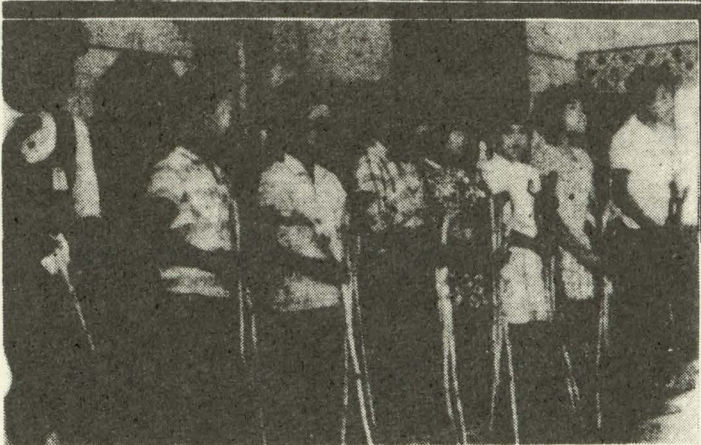
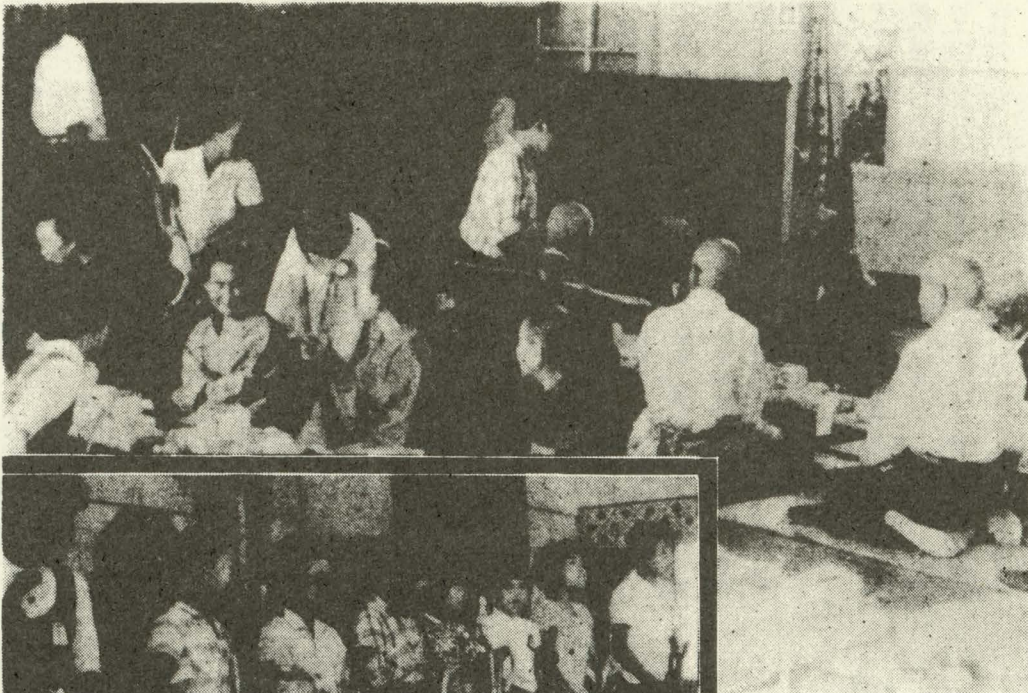
集を発刊することに決定しました。ちょうど町村合併八周年の記

念式が来る十一月二日に開催されるので、これを記念しても意義があるではないかというので、この日に創刊することになりました。

小中学校の社会科の資料として役り、家庭の読み物としたりして役

く立つことを望みます。一冊が四十円か五十円程度と思います。ご希望の方は各小学校へ十月末までに申込んで下さい。中学や高校でも結構です。

桃太郎や、かぐや姫、花咲ぢぢ



「老人の日」

杖をもらって喜ぶおとしより(上)と杖を贈るよい子たち(下)

い、浦島太郎といったように、この民話集が後世まで継がれることを祈念してやみません。

(文化財保護委員会)

町民体育大会

開催期日迫る

第六回、六地区対抗東栄町民体育大会の実施につきましては、体育協会理事会で種々研究してまいりましたが、剣道、弓道、相撲、庭球を第一次大会、陸上競技等を第二次大会としていずれも愛知県立本郷高等学校を会場にお借りして開催することになりましたので町内の皆様方多数おいでいただきたいご声援をお願いいたします。

期日

第一次大会

昭和三十七年十月二十八日

第二次大会

昭和三十七年十一月二日

出して泣くより

出さない備え

秋風と共に本年もまた火災のシーズンに入ります。

不幸にして火災を出しますと大切な家財は申すまでもなく尊い人命までも失うようなことにもなりかねません。夜寝る前、留守にするときは必ず火の元を廻ってみるようにして下さい。消火等は必ずすぐとて置くて下さい。

無形文化財

「花祭」について

郷土の誇である無形文化財花祭は昭和二十九年、文部省から無形文化財として選定されたのですが、これは重要な無形文化財に選んだというものでした。

ところがこの選定の通知を無形文化財に指定されたと思ひこんで現在まで、文部省指定の重要無形文化財として、新聞も雑誌も絵葉書もこの名称を使っておりました。去る九月十八日に郡の町村会長

会議が設案事務所が開かれた時、県の文化財専門委員である坪井忠彦氏と県社会教育課次長及び文化財担当主事がこられて次のような話をされました。

花祭は民族学、演劇、古典音楽をはじめあらゆる文化史として外国にも知られておる日本の重要な無形文化財であるが、これを文部省が指定してないのはどういふわけかと、学界や研究者から話がでているが、先づ段階として愛知県指定を受け、次に県が文部省の指定を受けるよう是非とも申請して下さいと云うことで、みんなびっくりしたわけです。

指定は申請を提出しなくては手続上だめなわけです。そこで東栄

町の十一箇部落と豊根の四部落それに津具を加えて、北設の花祭保存会を設立して、これを母体として申請することに町村会で決定をみたわけです。その根本になる各部落ごとに保存会を組織し、その

合同体である東栄町花祭保存会を更に北設花祭保存会を組織すべし、今後この重要無形文化財を、形をくずさないように大切に保護をし振興して将来のために永く後世へ引継ぐことを皆さんに理解していただき、ご協力を賜りたいと存じます。常任理事は東栄町四名豊根村一名津具一名ということにこれも決定されました。

国民年金に

加入しましょう

国民だれもが自分の年金をもらえように、ということでした。国民年金は、既に本年五月から実際に年金の支払いを受ける人ができてきました。事故にあつて身体障害者になった人とか、一家の生計の中心者を失くした人たちであります。私たちは老後のくらしに或は不時の事故に常に備えていなければなりません。仲々思うようには参りません。その場に立つまで気がつかないものです。国民年金制度を含めて所得保障制度の在り方としては、より豊かな年金を受けるためには多少の保険料の負担をのんでいくということこそ、社会保障制度の発展を願うもの、とるべき途ともいえます。

この度国民年金は国民の生活を保障するものとして多くの人々の声を生かしより一層充実したものにすため本年四月から大巾な改正が行なわれました。

国民年金は私たちのものです。未加入の人は一日も早く、役場へ印鑑を持参して、加入の手続きをとって下さい。生活が苦しく加入しても保険料を納めることができなと思われ人でも、免除の手続きをして許可になれば、納めた人と同じように年金給付を受けることができます。

「備えあれば憂いなし」といわれるように、老後に備えて、みんな国民年金に加入しましょう。

東栄歌壇

「短歌」

(八月)

(天) 神谷 花子

初なりの桃熟れそめし嬉しさよ腰
き果皮にそとふれてみる

(地) 倉田よし子

うら山にひぐらしの鳴く聞えきて
漸く暑き日も夕つきぬ

(人) 伊藤 力

赤銅の肌汗まぶれ青きネオンに光
りて夜を働く工夫

(九月)

(天) 柳沢美智子

我が夫がもう手に乗せし早生栗の
まぶしき程に実の熟しおり

(地) 海道具次郎

求めきし吾子の服地の柄と色を云
いつつ妻は我に触れしむ

(人) 岡田 つぎ

朝風に百日紅のゆれており好き日
続きて秋深みゆく

(事務局より)

八月と九月分の詠草を、選者宮下先生を迎えて東栄中学校の和室で、互選をしたり先生から評価をしていただきました。その節長野

県のおゆめさの会長さんとその他二名の方も来られて熱心にご指導を賜りまして嬉しく思いました。

次に俳句の方も会員が非常に熱心で作品を出される数が多くなりました。

選者の加藤先生も一度来られて句会を開いてほしいとのことでした。農業もいまになった頃をみて他の町村の方もまじえて句会を催したいと思ひます。

俳 句



(天) 金指 節子

駅頭の人混に盛る秋の色

(地) 伊藤 瑞仙

初秋のある日の思ひ雲に湧き

(人) 奥谷 米十

雅き透す陽さしに映ゆる葉難頭

(入選) 原田 芳子

狭きせにれいを送りて君をこふ

伊藤 力

送り火をたく人遠く影をみせ

梅田トシ

旅すかれ黙し新涼門に入る

鷹氏 瓢山

逆らいて立つ窓初秋の月澄みて

鷹氏 寿村

初秋を奏つる篋の音たしか

伊藤 均生

稻妻も夜の山容を描き出す

西尾 秀峰

明神を包む雲見て秋葉播く